

令和 8 年度事業計画

1 はじめに

大館市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、昭和 55 年（1980 年）秋田県内で初めて設立され、平成 17 年（2005 年）には 1 市 2 町の合併により統合した新生大館市シルバー人材センターが誕生した。発足以来、センターは**自主・自立・共働・共助を理念**とし、就業を通じて高齢期の生きがいを実現するとともに地域社会に貢献する機関として存在感を発揮してきた。

しかしながら、大館市は出生率の低下による少子化及び若年層の市外への流出などで人口減少が著しいものとなり、平成 17 年の新市発足から約 2 万人減少した。今後、人口減少により、地域経済の成長や行財政基盤の弱体化、子どもの健全育成への影響などが大きく変化していくことが予想される。特に、労働力人口の減少による労働力不足や地域社会活動の担い手不足などにより地域経済の衰退が危惧される。

こうした中で、全ての年代の人々がそれぞれのライフステージにおいて、経済社会の担い手として活躍することが求められてきているが、当センターも会員数の減少傾向に歯止めがかからないまま現在に至っている。

しかしながら、センターが地域社会に貢献し存在感を発揮するためには、組織の拡大及び活性化が何より重要であり、そのことを目に見える形で示すことができる一番の指標が会員数である。そこで、全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）が策定した「新たな仲間づくり計画～10 万人の増加を目指して！～」や秋田県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）が策定した「シルバー人材センター事業拡大計画」、さらにはセンターが策定した「**第 3 次中期計画～地域のために飛躍を期して**」に沿って各種事業に取り組むこととする。

センターは、会員が増加することでこれまで以上に担い手を必要とする発注者からの期待に応えることが可能となる。それにより、地域社会におけるセンターの存在感が向上し、会員がより一層誇りを持って活動に励むようになる。さらに、その姿が地域社会に認知されることにより、新たな会員の確保につながる。こうした「会員拡大と就業機会の拡大」というシルバー事業の好循環を目指し、ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底を図りながら、関係役職員及び会員が全員一丸となって事業を展開していくものである。

2 運営の基本

- (1) 会員増強の推進
- (2) 女性の入会促進
- (3) 就業機会の確保・拡大
- (4) 安全・適正就業の推進
- (5) 事業運営の活性化
- (6) 事務局体制の充実強化
- (7) 財政基盤の安定

3 事業実施計画

(1) 会員増強の推進

令和6年度におけるセンターの粗入会率は1.57%であり、秋田県の平均粗入会率1.67%を目指すこととし、令和7年1月1日現在における大館市の60歳以上人口が31,293人であり、県の平均値1.67%で計算すると会員数は522人となる。また、秋田県連合会の事業拡大計画では令和8年度の会員目標数は507人とされており、センター策定の第3次中期計画の530人にこだわらず、会員増強の推進として次の事業を行う。

- ・会員による「一人が一人入会促進運動」の協力要請
- ・週1回の入会説明会及びハローワーク大館における「シルバー相談室」の実施
- ・会費の減免措置等による退会抑制策の周知啓発
- ・地域班の活性化による組織基盤の強化
- ・ポスター掲示、チラシ配布等による入会宣伝活動
- ・PDCAサイクルの徹底により実施した事業の検証及び結果に基づく新たな対策の実施

(2) 女性の入会促進

大館市の60歳以上人口の約6割が女性である。しかしながら、センターの女性会員の割合は、令和7年度9月末で2割程度となっており、女性会員の入会促進は喫緊の課題である。

令和7年度から「女性委員会」を立ち上げて、一般市民まで対象者を拡大した「女たちの趣味講座」を3回開催する等積極的な活動を展開している。

各種講座参加者のアンケートからは、「働くことは望まないが趣味の講座が開催されればぜひ参加したい。」といった感想が見られた。

今後は、会員同士の積極的な交流から女性の新規入会促進に繋がるよう

な活動を継続していくため次の事業を行う。

- ・各種講座参加者を中心にしてサークル活動の拡充による入会促進
- ・女性限定やセンター以外の場所での説明会の実施
- ・家事援助事業や育児支援事業の強化による職群班の拡充

(3) 就業機会の確保・拡大

大館地域の人口減少が進む中で、地域経済全体の活力が縮小している。そうした中で、担い手を必要とする発注者からの期待に応えるために、従来からの就労先の継続はもちろんのこと、新たな就業機会の開拓に努め、会員の多様なニーズに対応した就業機会の確保のために次の取組を行う。

①請負委任の受託事業拡大

- ・会員による「1件1万円の仕事開拓運動」への協力要請
- ・活動範囲が限定される高齢者等を対象とした「ワンコインサービス」の積極的な周知
- ・地域の課題である空き家・墓の管理及び耕作放棄地の代行サービスの拡充

②シルバー人材センター活性化推進事業の実施検討

地域の高齢者が生きがいや役割を持てる地域共生社会を実現するためには、多様な就業機会の提供を推進していく必要があることから、会員の就業ニーズを踏まえつつ、会員が健康状態に合わせて活躍できる社会参加の場や地域貢献等にも繋がる独自事業を検討する。

③シルバー派遣事業の推進

センター事業の実態の認知・理解に努め、従来からの作業イメージである草刈り、剪定、清掃こだわらないシルバー派遣事業に基づく多様な働き方を積極的に周知・広報する。

(4) 安全・適正就業の推進

①安全就業の推進

シルバー人材センター事業に対する地域社会の信頼確保及び会員家族の安心のために、作業時における「安全帽の着用徹底」、「梯子、脚立の正しい使用及び開き止めの徹底」、「交通ルールの順守」、「転倒防止の取り組み」の4つを重点に据え事故撲滅を目指す。また、猛暑時に「熱中症特別警戒アラート」が発出された時は作業中止をする。

さらに、秋田県シルバー人材センター連合会及び当センターが主催する各種講習や技能講座への参加を積極的に呼びかけるほか、次の事業等を行う。

- ・安全・適正就業強化月間における「安全・適正就業激励会」の開催

- ・ 損害賠償責任保険事故の発生防止対策の徹底
- ・ 頻発する熊出没に対応した被害対策の励行

②適正就業の推進

適正就業及び法令遵守は公益社団法人として当然のことであり、今一度あらゆる契約を見直し、次のことに留意して、正しい請負、正しい派遣になるよう発注者と協議して是正を図る。

- ・ 契約内容に疑念を抱かせる表現がないか再度点検すること
- ・ 請負に馴染まない就業実態が見られる仕事の派遣契約への転換すること
- ・ 判断の難しい契約は受けないこと

(5) 事業運営の活性化

大館地域は若年者の社会減を主にした人口減少が続いており、地域社会の課題解決の担い手としてセンターが存在感を発揮する必要がある。そのためには次世代の生活、同世代の生活、人手不足に苦慮する企業等を下支えする役割を果たすことが重要であることから、次の活動等を行う。

①普及啓発活動の実施

「会員拡大や就業機会の拡大」にも通じることから、シルバー人材センター事業の目的及び活動状況を発信し、市民各層への理解浸透を図る。

- ・ 宣伝用ポスター及びリーフレットの作成及び配布
- ・ 地域行事を活用した役職員による街頭宣伝活動
- ・ 会報「シルバーおおだて」の継続発行
- ・ 市広報、新聞広告及びホームページの充実による積極的な広報活動

②ボランティア活動の実施

・ シルバー人材センター事業の PR 及び市内各地区公共施設の環境保全のため、「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」を中心にしての一斉奉仕作業の実施

③事務所・研修棟の積極活用等

- ・ 正・副班長会議、地域班会議及び職群班会議など会員のための会議、講習、講座等の開催
- ・ 未就業会員対策として就業を希望する会員を対象にした事務局職員による月1回の就業相談日の開催
- ・ 会員によるサークル活動立ち上げ等への支援

④他団体との円滑な連携強化

現在構成員となっている「大館市地域雇用活性化推進協議会」、「大館・北秋地域雇用対策会議」、「大館市支え合い推進会議」及び「大館市まるごとネットワーク」の活動に協力し、地域社会の課題解決の一助を担う。

(6) 事務局体制の充実強化

コロナ禍により開催が見送られていた県北地域シルバー人材センターの合同研修会を大館市で開催した。研修会終了後には意見交換会も開催し、日常業務で抱えている疑問点や不安などについて積極的な情報交換を行うなど参加者から好評を得た。

また、令和7年度に立ち上げた「組織強化検討委員会」による検討を継続し、役職員も含めた組織体制の充実強化を図るとともに、次の取組を行う。

- ・職員をはじめ役員も含めた意識向上のため、全シ協、東北シルバー人材センター連絡協議会及び連合会等が主催する各種研修会・会議等への積極的な参加

(7) 財政基盤の安定

「会員拡大と就業機会の拡大」というシルバー事業の好循環を作ることにより、会費収入及び受託事業収入の増加を図る。

また、7年度から開始した「公益充実資金」の適正な運用を図り、当面は50周年記念事業に向け積立てを行うが、中・長期的に必要な事業経費について検討を行い、積立てを始めるなど財政基盤の強化を行うほか、次の取組を推進する。

- ・大館市及び連合会との情報交換及び情報共有による連携強化
- ・シルバー人材センター活性化推進事業等の活用による収益事業の検討

4 事業の数値目標

(1) 会員数 500人

(2) 請負・委任及び派遣契約金額
292,816 (千円)

(3) 請負・委任及び派遣就業延日数
41,735 (人日)

【参考】

4 事業の数値目標

(2) 請負・委任及び派遣契約金額について

令和8年度の請負・委任及び派遣契約金額は次の通りである。

(内訳)

(単位：円)

受託事業収益	1,540,000
包括的契約に係る業務委託料	215,406,000
労働者派遣事業契約	75,870,000